おくのえいこ県政報告

明日に向かって元気いっぱい！

2周年増刊号

平成25年６月発行

発行：自由民主党
富山県議会議員会

ごあいさつ

青葉の頃、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

早いもので、初当選から三年目を迎え、任期も折り返しとなりました。当初は勝手がわからず困惑することも多くありましたが、少しずつ議会活動や地域活動等の幅を広げられたことは、諸先輩議員と日頃よりお支え頂いております皆様からのお力添えの賜物と感謝申し上げます。県議会の中では、経営企画常任委員会副委員長を経て、今年から教育警務常任委員会副委員長を拝命いたしました。また党務といたしましては、自民党県連遊説局次長を経て、県連ならびに市連の青年局長を仰せつかったところです。

今回は県議会定例会毎の会報とは別に、この二年間を振り返り、議会や党務における活動のまとめ号としてご報告させていただきます。

今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

よりよい故郷
夢育つまち富山を目指して。

富山県議会議員
奥野 泳子

プロフィール

出身地　富山県富山市
生年月日　昭和56年2月1日生まれ
血液型　B型
星座　水瓶座

経歴

平成5年3月　富山市立堀川小学校　卒業
平成8年3月　富山市立堀川中学校　卒業
平成11年3月　富山県立富山南高等学校　卒業
平成15年3月　順天堂大学スポーツ健康科学部健康学科　卒業
・高等学校教諭一種免許状（保健体育）取得
・中学校教諭一種免許状（保健体育）取得
・養護学校教諭免許状取得
平成15年3月～平成22年8月　富山テレビ放送株式会社（報道部）
平成23年5月～富山県議会議員

富山県議会議員としての役職

経営企画常任委員会副委員長（平成23年5月～平成25年3月）
新幹線等総合交通特別委員会委員（平成23年5月～）
教育警務常任委員会副委員長（平成25年4月～）

自民党富山県連での役職

自民党調査会文教公安部会副部会長（平成23年5月～平成25年3月）
自民党県連遊説局次長（平成23年5月～平成25年3月）
自民党県連青年部局青年部幹事長（平成23年6月～平成25年5月）
自民党調査会福祉環境部会副部会長（平成25年4月～）
自民党県連青年局青年局長（平成25年6月～）

その他の役職

富山県バウンドテニス協会会長
富山県キンボールスポーツ連盟顧問

今までの質問（抜粋）

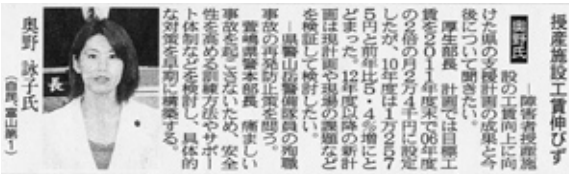
平成23年6月『一般質問』

【県教育基本計画について】
・基本的な人間教育や情操教育について
・目指すべき教育の形について

【高等特別支援学校と障がい者の自立支援】
・軽度知的障害の生徒の就職支援について
・工賃支援計画の向上支援計画の成果と今後の取り組みについて

【山岳警備隊について】
・専門部隊として訓練と活動の充実について
・山岳事故防止及び隊員の殉職事故の防止対策について

【スポーツ振興について】
・県野球協会の目指す小中高の一貫指導体制の確立について


授産施設工賃伸びず

奥野氏

―障害者授産施設の工賃向上に向けた県の支援計画の成果と今後について聞きたい。

厚生部長　計画では目標工賃を2011年度末で06年度の2倍の月2万4千円に設定したが、10年度は1万2577円と前年比5・4%増にとどまった。12年度以降の新計画は現状や現場の課題などを検証して検討したい。

―県警山岳警備隊員の殉職事故の再発防止策を問う。

警察本部長　痛ましい事故を起こさないため、安全性を高める訓練方法やサポート体制などを検討し、具体的な対策を早期に構築する。

奥野　詠子氏（自民・富山第1）

平成23年６月21日　北日本新聞掲載

平成23年12月9日『予算特別委員会』

【不妊症について】
・妊娠・出産にかかる県の支援状況について
・不育症の認知度と現状について
・不育症に対する支援体制の強化について

不育症の支援充実を

奥野　詠子氏（自民）

〈不育症〉治療、相談支援体制の充実を。

石井知事　富大附属病院で約100人、県立中央病院では40～50人が年間で診療を受けている。デリケートな問題であり、相談スキル向上研修で知識の習得に努めるほか、専門医の配置やリーフレットの配布などで情報提供や相談体制の充実を図りたい。

〈育児休業〉県内の取得状況を示せ。

荒木商工労働部長　2010年度の女性の取得率は91・6%だが、男性は1・1%と進んでいない。男性の平均取得日数は20日となっている。育児と仕事を両立しやすい職場環境づくりの重要性を啓発していきたい。

知事　専門医を配置

平成23年12月10日　富山新聞掲載

平成24年3月9日『一般質問』

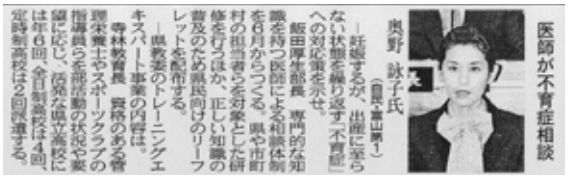
【母子保健について】
・不育症専門医を配置するなど相談窓口の充実強化について

【NPOとの協働事業について】
・NPO法人を取り巻く現状と課題について
・県がNPOに期待する役割と今後の支援策について

【障害者福祉等について】
・工賃向上支援計画の実績と目標の達成度について
・新たな工賃向上支援計画の内容と目標設定の考え方について

【学校における運動部活動について】
・トレーニングエキスパート事業について

【学校における食育について】
・学校給食における食物アレルギーへの対応について


医師が不育症相談

奥野　詠子氏（自民・富山第1）

―妊娠するが、出産に至らない状態を繰り返す「不育症」への対応策を示せ。

飯田厚生部長　専門的な知識を持つ医師による相談体制を6月からつくる。県や市町村の担当者らを対象とした研修を行うほか、正しい知識の普及のため県民向けのリーフレットを配布する。

―県教委のトレーニングエキスパート事業の内容は。

寺林教育長　資格のある管理栄養士やスポーツクラブの指導員らを部活動の状況や要望に応じ、活発な県立高校には年6回、全日制高校は4回、定時制高校は2回派遣する。

平成24年３月10日　北日本新聞掲載

スポーツ障害を防げ

奥野　詠子氏（自民）

〈スポーツ障害〉日ごろから予防策を講じることが大切だ。

寺林教育長　新年度から「運動部活動運営マニュアル」を作成し、中学・高校の指導者に配布するほか、県立学校にトレーナーや栄養士を派遣する。スポーツ医科学に基づいて健康、安全面で指導していきたい。

〈不育症〉支援を充実させてほしい。

飯田厚生部長　不妊専門相談センターや厚生センターでの相談にトレーナーの指導、助言も行う。県民向けリーフレットも作成する。

教育長　指導者にマニュアル配布

加え、新年度からは専門医師による相談に応じる。6月から月1回実施するほか、専門医師によるカウンセ

平成24年3月10日　富山新聞掲載

平成24年6月から専門医を配置した不育症相談窓口が富山県民共生センター「サンフォルテ」内に設置されました。

平成24年9月『予算特別委員会』

【障がい者も働ける環境づくり】
- 県職員として必要な能力について
- 点字試験の実施について
- 働きやすい職場環境の構築について

【少子化対策について】
- 特定不妊治療の助成実績の推移と成果について
- 高齢出産のリスク周知について
- 多子世帯の保育料軽減について

平成25年度から県職員採用初級試験において、点字受験の実施が決まりました。

県議会 予算特別委

保育料軽減 拡充へ

県 多子世帯を支援

県議会予算特別委員会（横山栄委員長）は24日開かれ、奥野詠子、神田真邦、神苗清吉（自民）、山上正隆（民主・県民クラブ）、井加田まり（社民）の5氏が質問した。県は、3人以上の子どもがいる「多子世帯」の保育料軽減策の拡大を検討する。子どもにかかる経済的な負担を軽減し、出生数の減少に歯止めを掛けたい考え。奥野氏の質問に答えた。

多子世帯の保育料軽減について、国は、2人以上が同時に入所している場合に限って実施している。県は、国の制度に上乗せする形で、3子以降の0～4歳児全員を対象に、0～3歳児は2分の1軽減、4歳児は3分の1軽減。いずれも軽減分は県と市町村が半分ずつ負担している。このほか、黒部市が3子以降は年齢制限なく4分の3軽減するなど、県内の市や町が県の基準を超えて支援している。

県児童青年家庭課によると、県内の出生数に占める第3子以降の割合は2014年が15・4％で、石川県の17・8％、福井県の18・5％を下回り、北陸では最も低い。全国平均の16・4％を下回った。福井県は、3子以降の3歳未満児の保育料を無料にするなど、手厚い支援が多子世帯の多さに表れている。

県内の14年の出生数7822人は過去最少で、5年前に比べ1132人減った。県が09年に行った意識調査によると、44・8％が3人以上の子どもを持つのが理想と回答した一方、実際に3人以上いるまたは持ちたいと答えたのは17・8％にとどまった。経済的負担を理由に挙げる人が多く、こうした状況を踏まえ、18日の県議会一般質問でも、山本徹氏（自民）が多子世帯の負担軽減を求めた。

知事は「さらに子どもを希望する夫婦の後押しになるよう、理解を得られる市町村と連携協力し、経済的負担の軽減を図りたい」と述べた。

25日は各常任委員会を開く。

平成24年9月25日　北日本新聞掲載

点字の採用試験検討

奥野　詠子氏（自民・富山市1）

―県職員採用試験は、視覚障害者のために点字の試験を用意し、すべての人に受験の機会が与えられるべき。

島崎人事委員会事務局長　これまで拡大印刷やルーペの使用を認めてきた。活字を扱う仕事のため、点字試験は難しいと考えるが、来年度以降の実施を検討したい。

―社会で経験を積んでから結婚、出産を選ぶ人が増えているが県内の状況はどうか。

小林厚生部長　35歳以上の母親から出生した子どもの割合は2000年の9・1％から10年は23・2％と2・5倍に増えている。

職員採用　視覚障害者に機会を

奥野　詠子氏（自民）

〈県職員採用〉視覚障害者にも挑戦の機会は平等に与えられるべきだ。

島崎人事委員会事務局長　広く受験機会を提供することは重要であり、これまでの採用試験でも問題を拡大文字にしたり、ルーペの使用を認めたりして配慮してきた。職務で点字による文書を取り扱う必要がある限り、点字試験の実施は難しいと考えるが、任命権者と十分に協議して検討したい。

人事委事務局長　点字試験は難しい

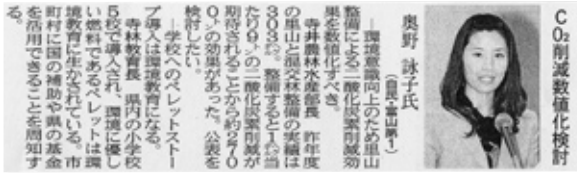
〈職員提案制度〉問題意識とモチベーションが高まる。

出口経営管理部長　職員の意識改革や組織活性化に有効と考えるが、さまざまな取り組みを参考にしたい。

平成24年9月25日　富山新聞掲載

平成24年12月7日『予算特別委員会』

【森林整備と低炭素社会の実現について】
- 森づくりに携わるボランティア団体の活動状況について
- 森林整備による地球温暖化防止効果への期待について
- 森林吸収源の効果を数値化について
- 事業成果を県民へのわかりやすく説明するべき
- 国内クレジット制度とJ-VER制度の県内実績と県の支援状況について
- 新クレジット制度への支援について
- 県施設におけるペレットストーブの導入について
- 学校へペレットストーブを導入について
- 環境・エネルギー先進県を掲げる富山県の将来ビジョンについて



CO2削減数値化検討

奥野　詠子氏（自民・富山市1）

―環境意識向上のため里山整備による二酸化炭素削減効果を数値化すべき。

寺井農林水産部長　昨年度の里山と混交林整備の実績は303㌶。整備すると1㌶当たり9㌧の二酸化炭素削減が期待されることから約2700㌧の効果があった。公表を検討したい。

―学校へのペレットストーブ導入は環境教育になる。

寺林教育長　県内の小学校5校で導入され、環境に優しい燃料であるペレットは環境教育に生かされている。市町村に国の補助や県の基金を活用できることを周知する。

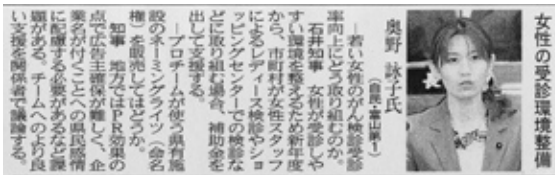
平成24年12月8日　北日本新聞掲載

平成25年3月11日

【がん検診の推進について】
- 若い女性を対象としたがん検診に対する意識啓発について
- 従業員が受診しやすい環境づくりについて
- 女性が検診を受けやすい環境づくりについて

【プロスポーツの推進について】
- 県民のプロスポーツに対する意識について
- プロスポーツの観光資源としての活用や効果について
- 県有施設のネーミングライツ採用について

【障がい者ヘルパーについて】
- 富山県の障がい者ヘルパーの利用率向上に向けた取り組みについて



女性の受診環境整備

奥野　詠子氏（自民・富山市1）

―若い女性のがん検診受診率向上にどう取り組むのか。

石井知事　女性が受診しやすい環境を整えるため新年度から、市町村が女性スタッフによるレディース検診やショッピングセンターでの検診などに取り組む場合、補助金を出して支援する。

―プロチームが使う県有施設のネーミングライツ（命名権）を販売してはどうか。

知事　地方ではPR効果の点で広告主確保が難しく、企業名が付くことへの県民感情に配慮する必要があるなど課題がある。チームへのより良い支援を関係者で議論する。

平成25年3月12日　北日本新聞掲載

※各質問の詳細は、過去の県政報告にてご覧いただけます。

党務報告

県連遊説局次長を務めた2年間、県内全域で自民党の理念や政策を訴えさせていただきました。暑い中、寒い中、街頭に足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。

また県連青年局では、全国の自民党支部で初となる公募提案型政策コンテストを開催し、党本部からも過分の評価をいただきました。45歳以下を対象としたこのコンテストでは、若者らしい情熱と斬新な政策が多く寄せられました。同年代の同志を前に、政策を実現していく重責を改めて噛み締めています。

今後も初心を忘れず、自民党の一員として精一杯取り組みます。

遊説局次長として県内各地で街頭演説

高市早苗政調会長と

青年部局として政策コンテストを開催

ホームページを新しくしました。ぜひご覧ください。

http://www.okunoeiko.jp/

Facebook 友達リクエストの際にはメッセージを一緒に送って頂くようお願いします。

Twitter 本人アカウント 奥野詠子(@Eiko_Okuno)　後援会アカウント 奥野詠子県議 後援会 詠桜会(@eiokai)

奥野詠子後援会 詠桜会

詠子の「詠」と、イメージカラーのピンクをかけて、「詠桜会（えいおうかい）」といいます。

詠桜会は奥野詠子県議の政治活動の支援を目的とする団体です。現在、詠桜会の趣旨に賛同していただける会員を募集しております。

富山県議会議員、奥野詠子の活動にご興味・ご関心をもたれた方、詠桜会へのご連絡をお待ち申し上げております。

詠桜会のご入会ご希望の方は、後援会事務所（TEL・FAX492-2828）までご連絡の程よろしくお願い致します。

入会費・年会費は無料です。

ご入会頂いた方には左記の案内をさせていただいております。

・県政報告だより
・各種イベントのご案内
・定時総会のご案内（毎年10月を予定）

事務所のご案内

お気軽にお立ち寄りください。

連絡先

富山県議会自民党控室
〒930-8501 富山市新総曲輪1－7
TEL 076(431)5244　FAX 076(441)8421

議員事務所
〒939-8073 富山市大町282
TEL 076(420)3530　FAX 076(420)3536

E-mail:okuno.eiko@lime.plala.or.jp